

# 令和6（2024）年度栃木県内市町等の地方公営企業決算の状況について

栃木県総合政策部市町村課

## 1 事業数（第1表・第1図）

令和6（2024）年度における県内市町等の地方公営企業数は、法適用企業は前年度から9事業増の85事業、法非適用企業は前年度から12事業減の15事業で合計100事業である。過去のピークである平成14（2002）年度の189事業と比べると89事業減（▲47.1%）となっている。

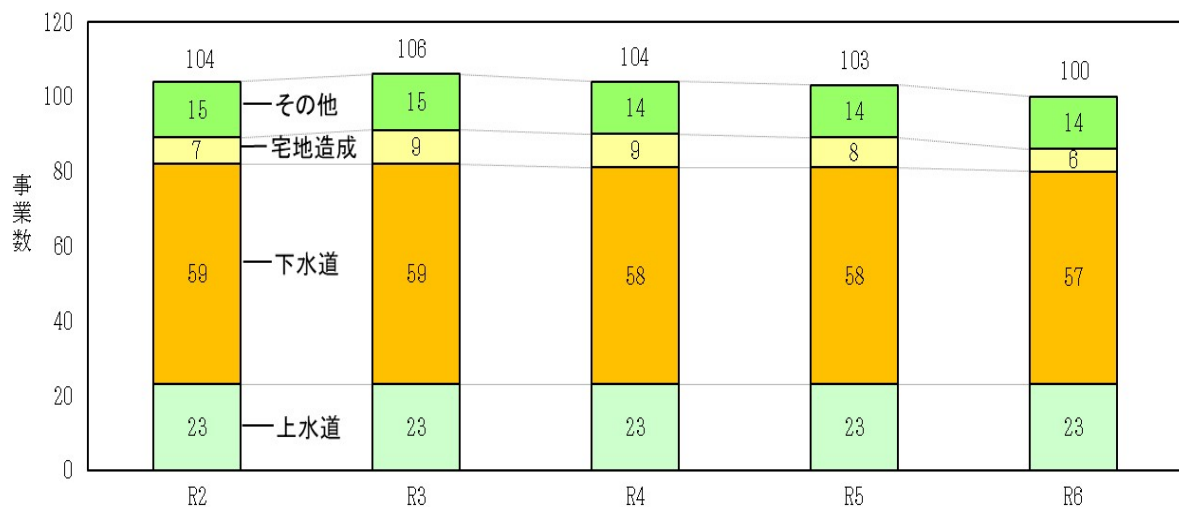
なお、事業数の80.0%を上下水道事業が占めている。

第1表 地方公営企業の事業数

項目	R2	R3	R4	R5(A)	構成比	R6(B)	構成比	B-A
	法適用							
上水道	23	23	23	23	22.3	23	23.0	—
工業用水道	2	2	2	2	1.9	2	2.0	—
病院	2	2	2	2	1.9	2	2.0	—
下水道	41	41	42	46	44.7	55	55.0	9
市場	1	1	1	1	1.0	1	1.0	—
その他	1	1	2	2	1.9	2	2.0	—
小計	70	70	72	76	73.8	85	85.0	9
法非適用								
下水道	18	18	16	12	11.7	2	2.0	▲10
市場	4	4	3	3	2.9	3	3.0	—
観光施設	3	3	2	2	1.9	2	2.0	—
宅地造成	7	9	9	8	7.8	6	6.0	▲2
駐車場	1	1	1	1	1.0	1	1.0	—
電気	1	1	1	1	1.0	1	1.0	—
小計	34	36	32	27	26.2	15	15.0	▲12
合計	104	106	104	103	100.0	100	100.0	▲3

（注）表内の数値は、表示単位未満での端数調整を行っていないため、計が合わないことがある。（以下同じ）

第1図 事業数の推移



（注）図における「下水道」は法適用及び法非適用の計である。（以下同じ）

（注）図における「その他」は上水道事業、下水道事業、宅地造成事業を除いた合計である。

## 2 職員数（第2表・第2図）

令和6（2024）年度末において公営企業に従事する職員数は、1,068人であり、前年度末からの増減はなかった。

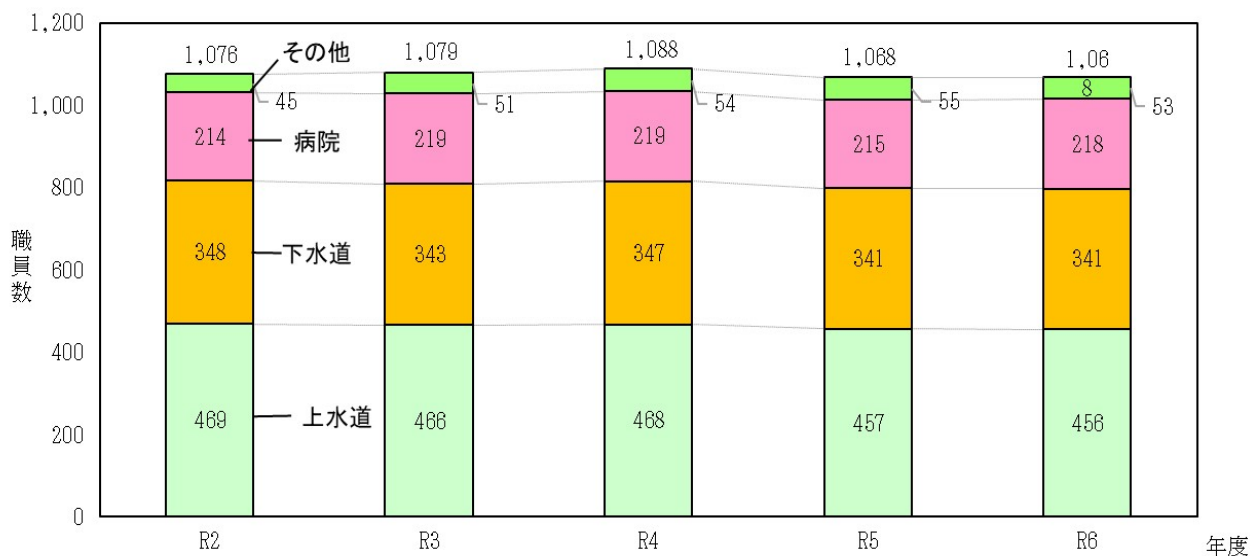
第2表 地方公営企業の職員数

（単位：人、％）

項目	R2	R3	R4	R5(A)	構成比	R6(B)	構成比	B-A
	法適用							
上水道	469	466	468	457	42.8	456	42.7	▲1
工業用水道	2	2	1	2	0.2	2	0.2	—
病院	214	219	219	215	20.1	218	20.4	3
下水道	320	316	322	321	30.1	339	31.7	18
市場	19	19	19	19	1.8	19	1.8	—
その他	0	0	3	3	0.3	3	0.3	—
小計	1,024	1,022	1,032	1,017	95.2	1,037	97.1	20
法非適用								
下水道	28	27	25	20	1.9	2	0.2	▲18
市場	0	0	0	0	—	0	—	—
観光施設	15	15	16	17	1.6	15	1.4	▲2
宅地造成	9	15	15	14	1.3	14	1.3	—
駐車場	0	0	0	0	—	0	—	—
電気	0	0	0	0	—	0	—	—
小計	52	57	56	51	4.8	31	2.9	▲20
合計	1,076	1,079	1,088	1,068	100.0	1,068	100.0	—

（注）各年度の職員数は年度末の数値である。

第2図 事業別職員数の推移



（注）図における「その他」は上水道事業、下水道事業、病院事業を除いた合計である。

### 3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

令和6（2024）年度の県内市町等の公営企業全体の決算規模は、1,288億81百万円で、前年度に比べ30億51百万円（2.4%）増加した。この主な要因は、上水道事業の建設改良費の増加等に伴う資本的支出の増によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、下水道事業659億3百万円（全体の51.1%）であり、次いで上水道事業510億67百万円（同39.6%）、宅地造成事業60億33百万円（同4.7%）、病院事業34億40百万円（同2.7%）となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、令和6年度市町村等普通会計歳出決算規模9,637億83百万円（一部事務組合の決算額を含む）の13.4%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

（単位：百万円、%）

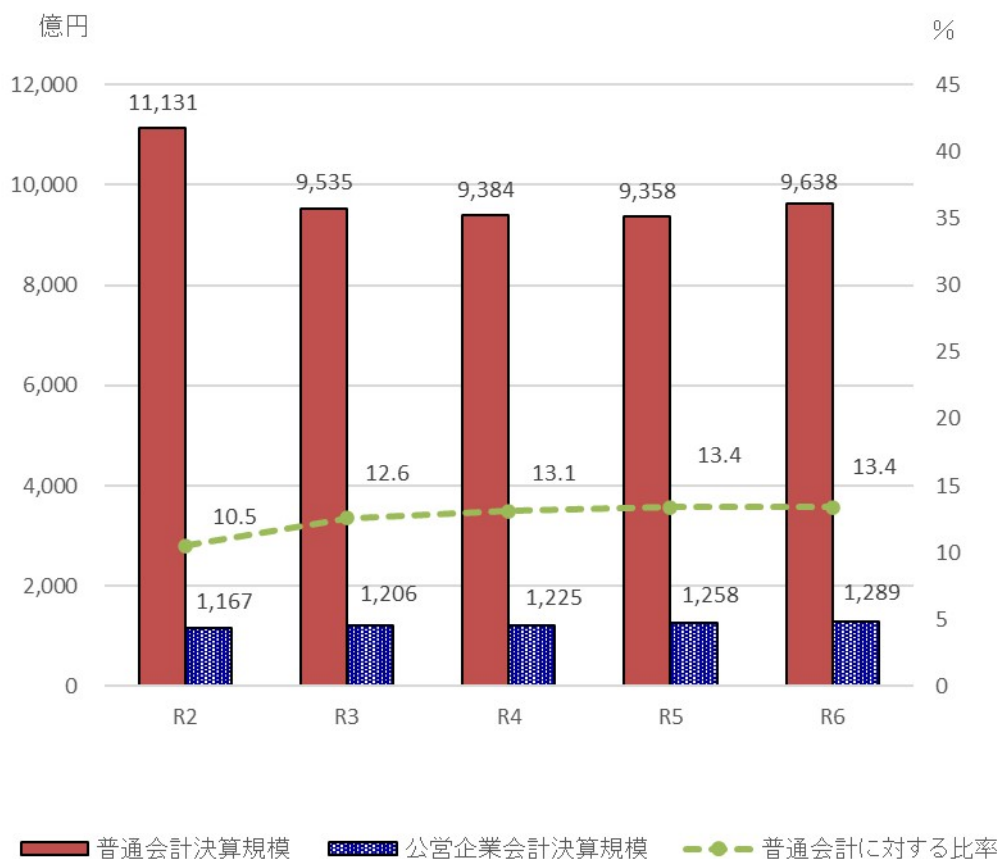
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(R2=100)				
	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	
法適用	上水道	47,021	46,806	48,555	47,366	51,067	▲ 0.5	3.7	▲ 2.4	7.8	100	103	101	109
	工業用水道	229	189	196	166	149	▲ 17.3	3.6	▲ 15.6	▲ 9.8	83	86	72	65
	病院	3,187	3,324	3,245	3,472	3,440	4.3	▲ 2.4	7.0	▲ 0.9	104	102	109	108
	下水道	59,354	58,949	60,339	63,981	65,575	▲ 0.7	2.4	6.0	2.5	99	102	108	110
	市場	587	2,573	1,573	1,095	748	338.4	▲ 38.9	▲ 30.4	▲ 31.7	438	268	187	127
	その他	17	16	659	832	1,072	▲ 4.8	4,060.2	26.2	29.0	95	3,961	4,999	6,447
小計	110,394	111,856	114,568	116,911	122,050	1.3	2.4	2.0	4.4	101	104	106	111	
法非適用	下水道	3,678	3,798	3,301	2,648	328	3.2	▲ 13.1	▲ 19.8	▲ 87.6	103	90	72	9
	市場	76	99	53	44	41	30.2	▲ 46.4	▲ 17.3	▲ 5.7	130	70	58	54
	観光施設	230	229	216	267	253	▲ 0.6	▲ 5.5	23.4	▲ 5.1	99	94	116	110
	宅地造成	2,149	4,462	4,149	5,784	6,033	107.6	▲ 7.0	39.4	4.3	208	193	269	281
	駐車場	117	116	120	126	115	▲ 1.1	3.8	4.9	▲ 8.7	99	103	108	98
	電気	56	55	53	51	59	▲ 1.7	▲ 4.2	▲ 4.3	17.3	98	94	90	106
小計	6,307	8,759	7,893	8,920	6,830	38.9	▲ 9.9	13.0	▲ 23.4	139	125	141	108	
合計	116,701	120,615	122,460	125,830	128,881	3.4	1.5	2.8	2.4	103	105	108	110	

（注）決算規模の算出方法は次のとおり。

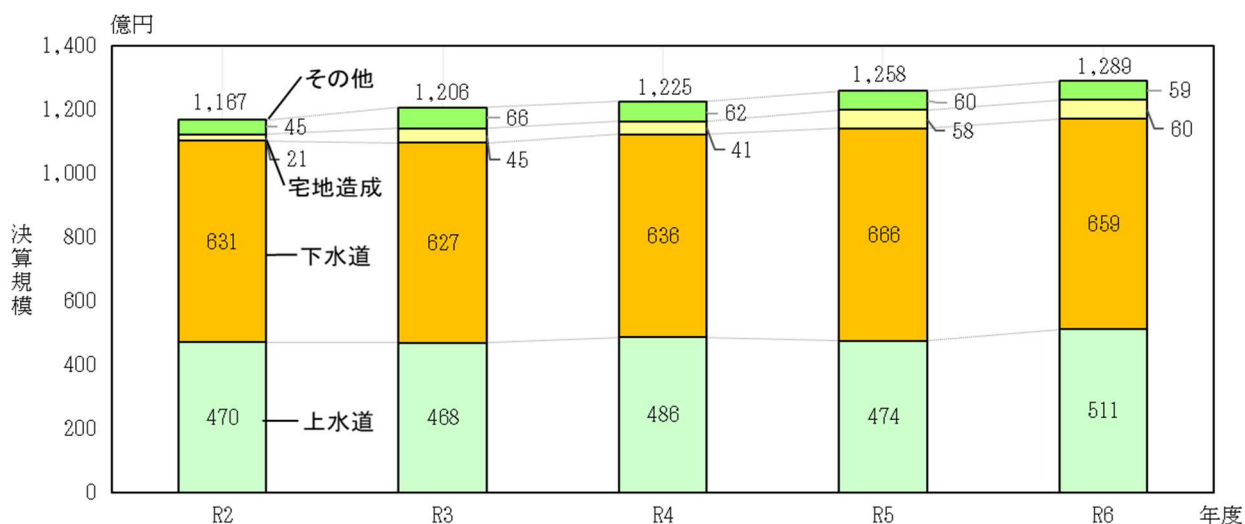
法適用企業：総費用（税込）－減価償却費＋資本的支出（建設改良費や企業債償還金等の支出）

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 決算規模の推移



(注) 図における「その他」は上水道事業、下水道事業、宅地造成事業を除いた合計である。

## 4 建設投資額（第4表・第5図）

令和6（2024）年度の建設投資額は454億19百万円で、前年度に比べ30億32百万円（7.2%）増加した。この増加のうち主なものは、上水道事業（+38億24百万円）である。建設投資額が最も大きい事業は、上水道事業222億73百万円（全体の49.0%）、次いで、下水道事業194億4百万円（同42.7%）、宅地造成事業28億97百万円（同6.4%）となっている。

公営企業の建設投資額は、過去のピークであった平成7（1995）年度（997億1百万円）に比べ45.6%の水準まで低下している。特に建設投資額全体の42.7%を占める下水道事業（194億4百万円）は、過去のピークであった平成8（1996）年度（667億94百万円）の29.1%の水準まで低下している。

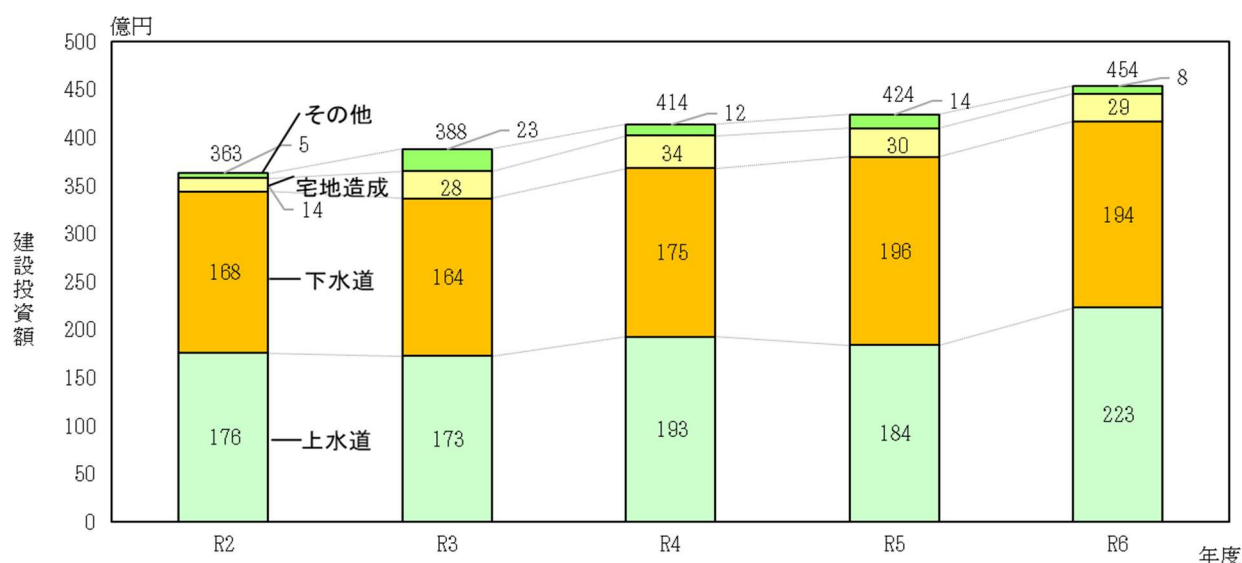
第4表 地方公営企業の建設投資額の推移

（単位：百万円、%）

項目	建設投資額					対前年度増減率				伸長指数 (R2=100)				
	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	
法適用	上水道	17,599	17,329	19,277	18,449	22,273	▲ 1.5	11.2	▲ 4.3	20.7	98	110	105	127
	工業用水道	96	53	58	54	41	▲ 44.8	9.3	▲ 6.4	▲ 25.2	55	60	56	42
	病院	176	277	86	321	183	57.3	▲ 68.9	272.0	▲ 43.0	157	49	182	104
	下水道	16,126	15,583	16,454	18,562	19,404	▲ 3.4	5.6	12.8	4.5	97	102	115	120
	市場	61	1,854	1,028	577	92	2,952.3	▲ 44.6	▲ 43.9	▲ 84.0	3,052	1,692	949	151
	その他	0	0	31	274	458	—	皆増	皆増	67.0	—	—	—	—
	小計	34,059	35,097	36,934	38,237	42,450	3.0	5.2	3.5	11.0	103	108	112	125
法非適用	下水道	693	767	1,000	1,038	0	10.6	30.4	3.8	皆減	111	144	150	—
	市場	23	46	2	1	0	98.9	▲ 95.4	▲ 38.4	皆減	199	9	6	—
	観光施設	50	35	18	80	60	▲ 28.9	▲ 48.6	340.8	▲ 25.0	71	36	161	121
	宅地造成	1,432	2,848	3,429	3,019	2,897	98.8	20.4	▲ 11.9	▲ 4.1	199	239	211	202
	駐車場	10	9	6	11	13	▲ 9.1	▲ 32.3	88.2	17.0	91	61	116	135
	電気	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	2,208	3,704	4,455	4,150	2,969	67.8	20.3	▲ 6.8	▲ 28.4	168	202	188	135	
合計	36,267	38,801	41,389	42,387	45,419	7.0	6.7	2.4	7.2	107	114	117	125	

（注）建設投資額とは、資本的支出の建設改良費である。

第5図 建設投資額の推移



（注）図における「その他」は上水道事業、下水道事業、宅地造成事業を除いた合計である。

## 5 企業債（第5表、第6図、第6表、第7図、第7表、第8図）

### 1 企業債発行額

令和6（2024）年度の企業債発行額は238億47百万円で、前年度に比べ30億43百万円（14.6%）増加した。この主な要因は、上水道事業及び下水道事業における建設改良費の増加である。

企業債発行額の大きな事業は、下水道事業124億31百万円（全体の52.1%）、次いで上水道事業92億76百万円（同38.9%）、宅地造成事業17億74百万円（同7.4%）となっている。

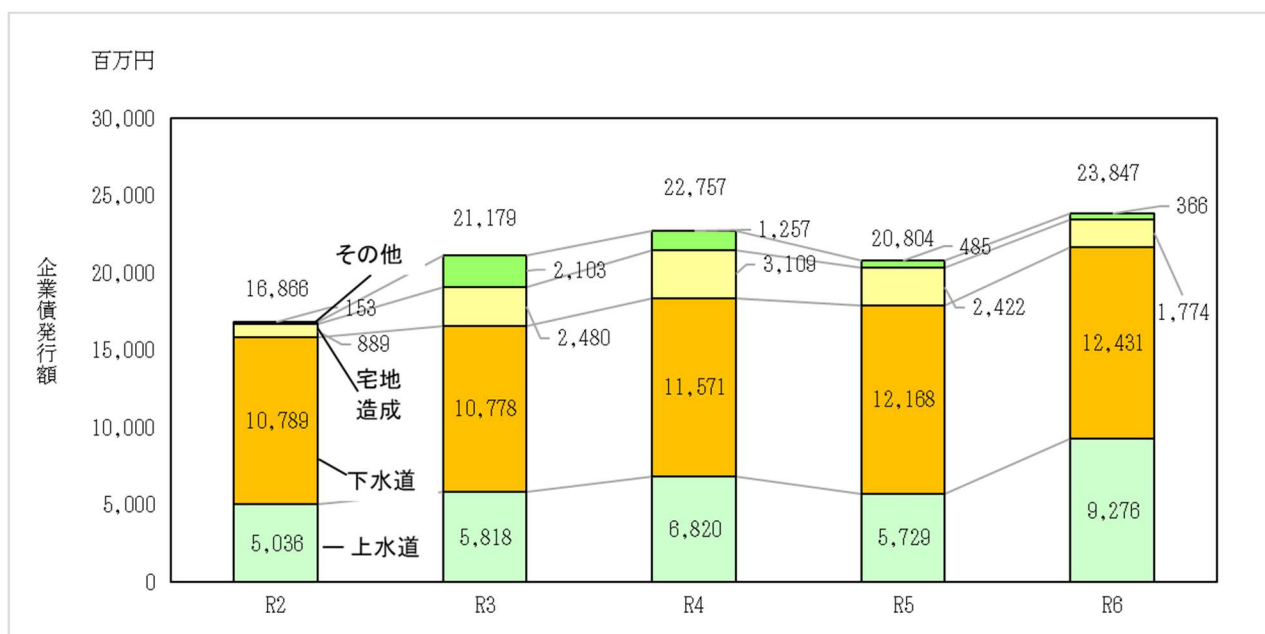
第5表 地方公営企業の企業債発行額の推移

（単位：百万円、%）

項目	企業債発行額					対前年度増減率				伸長指数 (R2=100)				
	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	
法適用	上水道	5,036	5,818	6,820	5,729	9,276	15.5	17.2	▲ 16.0	61.9	116	135	114	184
	工業用水道	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	病院	109	237	77	297	180	117.7	▲ 67.3	284.2	▲ 39.6	218	71	274	165
	下水道	10,351	10,305	10,933	11,509	12,431	▲ 0.4	6.1	5.3	8.0	100	106	111	120
	市場	0	1,793	1,158	0	0	皆増	▲ 35.4	皆減	—	—	—	—	—
	その他	0	0	13	124	130	—	皆増	—	5.5	—	—	—	—
小計	15,496	18,153	19,001	17,659	22,017	17.2	4.7	▲ 7.1	24.7	117	123	114	142	
法非適用	下水道	438	473	638	659	0	7.9	35.0	3.3	皆減	108	146	150	—
	市場	23	45	0	0	0	98.3	皆減	—	—	198	—	—	—
	観光施設	21	28	9	64	56	29.7	▲ 68.0	623.9	▲ 12.7	130	42	300	262
	宅地造成	889	2,480	3,109	2,422	1,774	179.1	25.4	▲ 22.1	▲ 26.8	279	350	273	200
	駐車場	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	電気	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	1,371	3,025	3,756	3,145	1,830	120.7	24.1	▲ 16.3	▲ 41.8	221	274	229	134	
合計	16,866	21,179	22,757	20,804	23,847	25.6	7.5	▲ 8.6	14.6	126	135	123	141	

（注）企業債＝地方債

第6図 企業債発行額の推移



（注）図における「その他」は上水道事業、下水道事業、宅地造成事業を除いた合計である。

## 2 企業債元利償還額

令和6(2024)年度の企業債元利償還額は380億53百万円で、前年度に比べ8億58百万円(2.2%)減少した。

企業債元利償還額の大きな事業は下水道事業で、250億82百万円(全体の66.0%)、次いで上水道事業96億31百万円(同25.3%)である。上下水道事業の償還額の合計は347億13百万円となり、公営企業全体の91.2%にあたる。

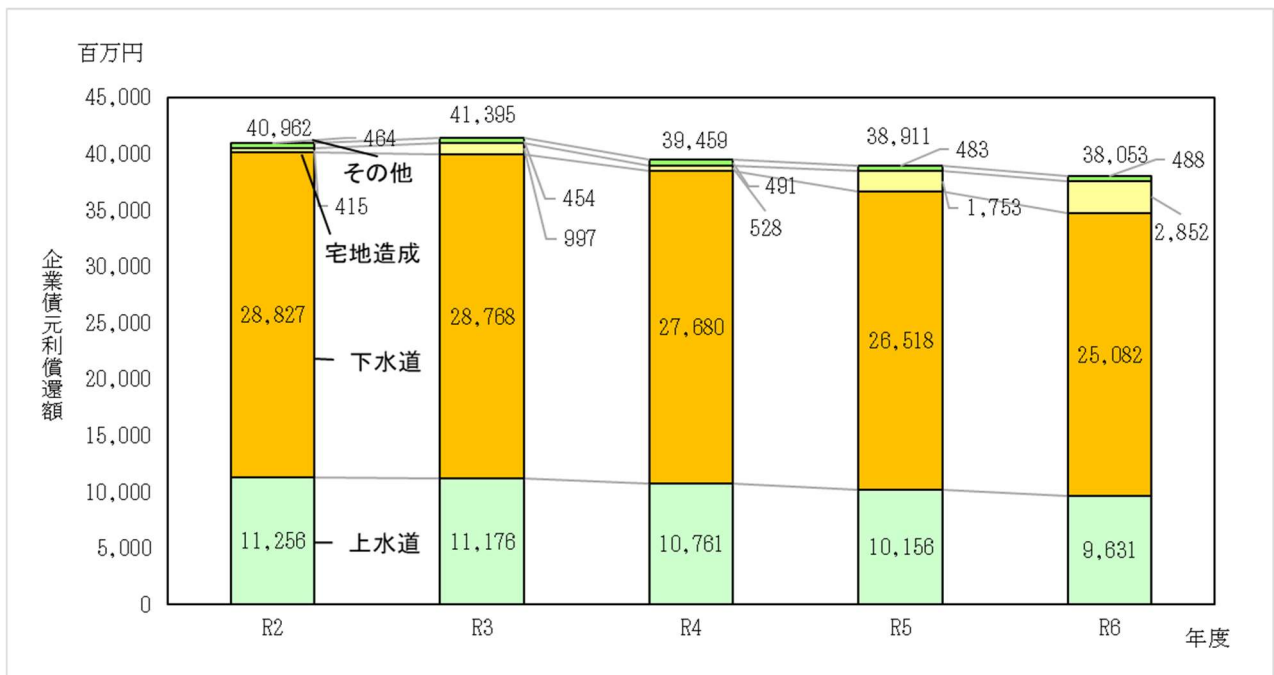
第6表 地方公営企業の企業債元利償還額の推移

(単位：百万円、%)

項目	企業債元利償還額					対前年度増減率				伸長指数(R2=100)			
	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
上水道	11,256	11,176	10,761	10,156	9,631	▲ 0.7	▲ 3.7	▲ 5.6	▲ 5.2	99	96	90	86
工業用水道	31	31	31	—	—	0.0	0.0	皆減	—	100	100	—	—
病院	384	391	412	414	415	1.9	5.2	0.6	0.2	102	107	108	108
下水道	26,997	26,871	26,244	25,480	24,864	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 2.4	100	97	94	92
市場	39	20	5	15	15	▲ 50.0	▲ 74.2	195.1	1.1	50	13	38	38
その他	—	—	27	33	35	—	皆増	—	5.8	—	—	—	—
小計	38,706	38,489	37,478	36,097	34,960	▲ 0.6	▲ 2.6	▲ 3.7	▲ 3.2	99	97	93	90
下水道	1,830	1,896	1,436	1,038	218	3.6	▲ 24.3	▲ 27.7	▲ 79.0	104	78	57	12
市場	3	5	7	9	9	69.3	31.0	39.1	▲ 0.3	169	222	308	308
観光施設	7	7	10	13	14	▲ 0.1	32.9	31.9	9.9	100	133	175	192
宅地造成	415	997	528	1,753	2,852	▲ 47.1	▲ 47.1	232.2	62.6	240	127	422	687
駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	2,256	2,906	1,980	2,814	3,093	28.8	▲ 31.9	42.1	9.9	129	88	125	137
合計	40,962	41,395	39,459	38,911	38,053	1.1	▲ 4.7	▲ 1.4	▲ 2.2	101	96	95	93

(注) 企業債＝地方債

第7図 企業債元利償還額の推移



(注) 図における「その他」は上水道事業、下水道事業、宅地造成事業を除いた合計である。

### 3 企業債現在高

令和6(2024)年度末の企業債現在高は3,243億22百万円で、前年度に比べ97億71百万円(2.9%)減少した。また、企業債現在高は、公営企業決算規模1,288億81百万円の約2.5倍になっており、決算規模が普通会計歳出決算規模(9,637億83百万円)の13.4%であるのに対し、普通会計地方債現在高(6,324億43百万円)の51.3%の水準となっている。

なお、企業債現在高と普通会計地方債現在高を合わせると、9,567億65百万円となる。

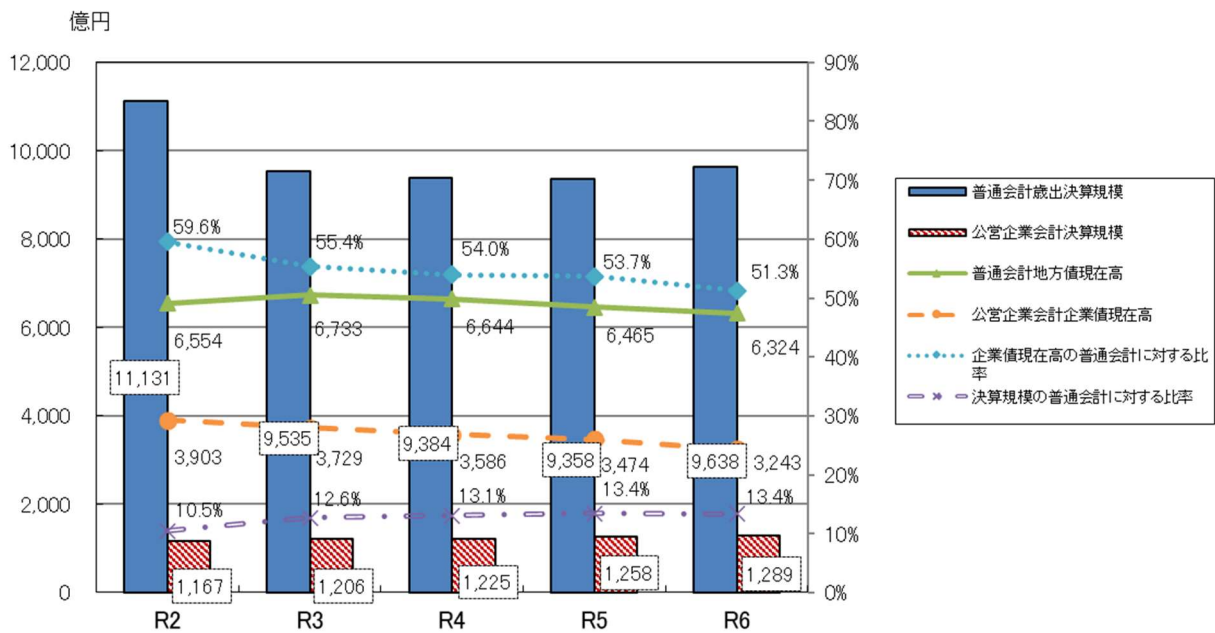
第7表 地方公営企業の企業債現在高の推移

(単位：百万円、%)

項目	企業債現在高					対前年度増減率				伸長指数(R2=100)			
	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
上水道	104,973	101,378	99,010	96,023	96,986	▲ 3.4	▲ 2.3	▲ 3.0	1.0	97	94	91	92
工業用水道	60	30	—	—	—	▲ 49.8	皆減	—	—	50	—	—	—
病院	1,621	1,505	1,201	1,107	885	▲ 7.2	▲ 20.2	▲ 7.9	▲ 20.0	93	74	68	55
下水道	245,193	232,506	222,770	215,623	215,077	▲ 5.2	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 0.3	95	91	88	88
市場	19	1,793	2,951	2,951	2,951	9,224.1	64.6	0.0	0.0	9,324	15,345	15,345	15,345
その他	—	—	144	235	331	—	皆増	63.3	41.0	—	—	—	—
小計	351,866	337,213	326,077	315,939	316,231	▲ 4.2	▲ 3.3	▲ 3.1	0.1	96	93	90	90
下水道	18,426	17,294	14,595	10,745	1,726	▲ 6.1	▲ 15.6	▲ 26.4	▲ 83.9	94	79	58	9
市場	77	117	111	102	93	52.8	▲ 5.4	▲ 8.0	▲ 8.7	153	145	133	121
観光施設	101	121	121	172	215	20.5	▲ 0.4	42.6	24.6	120	120	171	213
宅地造成	2,392	3,880	6,465	7,135	6,058	62.2	66.6	10.4	▲ 15.1	162	270	298	253
駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	20,996	21,412	21,292	18,154	8,091	2.0	▲ 0.6	▲ 14.7	▲ 55.4	102	101	86	39
合計	372,862	358,625	347,369	334,093	324,322	▲ 3.8	▲ 3.1	▲ 3.8	▲ 2.9	96	93	90	87

(注) 企業債＝地方債

第8図 企業債現在高及び決算規模の推移



(注) 普通会計歳出決算規模及び普通会計地方債現在高は一部事務組合を含む。

## 6 他会計繰入金（第8表・第9表・第9図）

令和6（2024）年度の地方公営企業に対する他会計からの繰入金は265億38百万円で、前年度に比べ3億18百万円（1.2%）減少した。このうち、国の示す「令和6年度の地方公営企業繰入金について」に基づき一般会計が負担した額（基準内繰入金）は153億2百万円（全体の57.7%）であるのに対し、繰出基準に基づかない繰入金（基準外繰入金）は112億36百万円（同42.3%）で、この基準外繰入金は、実質的には財源不足を補うための赤字補てん等に充てられている。

基準外繰入金の額が大きい事業は下水道事業の94億70百万円で、基準外繰入金全体の84.3%に相当する。

第8表 地方公営企業への他会計繰入金の推移

（単位：百万円、%）

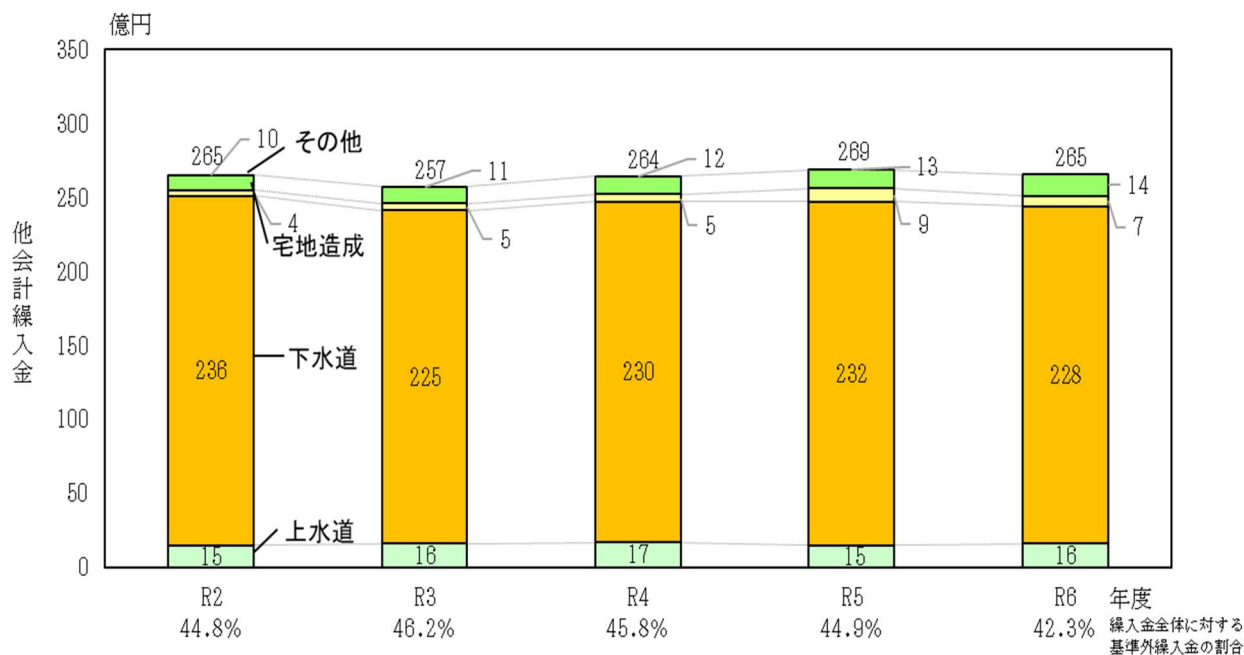
項目	他会計繰入金					対前年度増減率				伸長指数 (R2=100)				
	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	
法適用	上水道	1,506	1,557	1,680	1,528	1,560	3.4	7.9	▲ 9.0	2.1	103	112	101	104
	工業用水道	29	29	28	7	8	0.2	▲ 4.3	▲ 73.6	2.7	100	96	25	26
	病院	748	758	758	851	842	1.3	0.0	12.2	▲ 1.1	101	101	114	113
	下水道	21,395	20,343	21,282	21,900	22,521	▲ 4.9	4.6	2.9	2.8	95	99	102	105
	市場	113	178	167	158	209	57.7	▲ 6.0	▲ 5.6	32.4	158	148	140	185
	その他	2	1	275	210	355	▲ 27.4	22,428.7	▲ 23.8	69.6	73	16,364	12,466	21,147
	小計	23,792	22,866	24,191	24,654	25,495	▲ 3.9	5.8	1.9	3.4	96	102	104	107
法非適用	下水道	2,248	2,230	1,685	1,255	261	▲ 0.8	▲ 24.5	▲ 25.5	▲ 79.2	99	75	56	12
	市場	40	45	40	30	32	11.2	▲ 10.7	▲ 23.8	6.4	111	99	76	81
	観光施設	40	38	36	29	32	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 18.4	10.3	96	90	73	81
	宅地造成	412	476	456	888	718	15.6	▲ 4.2	94.8	▲ 19.1	116	111	216	175
	駐車場	16	2	—	—	—	▲ 88.9	皆減	—	—	11	—	—	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	2,755	2,790	2,216	2,202	1,043	1.3	▲ 20.6	▲ 0.6	▲ 52.6	101	80	80	38
合計	26,547	25,656	26,407	26,856	26,538	▲ 3.4	2.9	1.7	▲ 1.2	97	99	101	100	

第9表 他会計繰入金の内訳

(単位：百万円、%)

項目	収益的収入			資本的収入			他会計繰入金合計			基準外繰入金の割合 B/A	
	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計	基準内繰入金	基準外繰入金		
											A
法適用	上水道	543	236	307	1,017	801	216	1,560	1,037	523	33.5
	工業用水道	8	—	8	—	—	—	8	—	8	100.0
	病院	548	538	9	294	246	49	842	784	58	6.9
	下水道	17,235	11,800	5,435	5,286	1,290	3,996	22,521	13,090	9,431	41.9
	市場	209	161	49	—	—	—	209	161	49	23.3
	その他	78	—	78	278	—	278	355	—	355	100.0
	小計	18,620	12,735	5,885	6,875	2,336	4,539	25,495	15,071	10,424	40.9
法非適用	下水道	261	222	39	—	—	—	261	222	39	14.9
	市場	23	5	18	9	4	4	32	10	23	70.5
	観光施設	32	—	32	—	—	—	32	—	32	100.0
	宅地造成	26	—	26	693	—	693	718	—	718	100.0
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	341	227	115	702	4	697	1,043	231	812	77.8
合計	18,961	12,962	6,000	7,577	2,341	5,236	26,538	15,302	11,236	42.3	
令和5年度	19,141	12,471	6,670	7,715	2,336	5,379	26,856	14,807	12,049	44.9	

第9図 他会計繰入金の推移



## 7 法適用企業の経営状況

(第10表・第11表・第12表・第13表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業のうち、地方公営企業法の全部又は財務規定等を適用し、企業会計方式（複式簿記）で会計処理を行っている事業を法適用企業といい、令和6（2024）年度においては前年度から9事業増の85事業であった。法適用企業の決算規模は1,220億50百万円で、前年度に比べ51億39百万円（4.4%）増加しており、公営企業全体の決算規模に占める割合は94.7%となっている。

### 1 収益的収支

令和6（2024）年度の経常損益は、経常収益（営業収益＋営業外収益）が947億43百万円、経常費用（営業費用＋営業外費用）が887億39百万円で、差引60億4百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額が19億70百万円（24.7%）減少した。但し、これは一般会計からの基準外繰入金58億85百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な経常損益の黒字額は1億19百万円であった。また、経常収支比率は106.8%で、前年度を2.6ポイント下回った。

純損益は58億70百万円で、前年度に比べ19億6百万円（24.5%）減少した。そのうち純利益を生じた事業（黒字事業）は73事業（前年度68事業）、純損失を生じた事業（赤字事業）は12事業（前年度8事業）あり、純損失を生じた事業の内訳は上水道事業3事業、病院事業1事業、下水道事業6事業、市場事業1事業、その他事業1事業となっている。

### 2 累積欠損金（当年度未処理欠損金）

令和6（2024）年度末の累積欠損金は24億48百万円で、前年度に比べ4億93百万円（25.2%）増加した。累積欠損金を保有する事業は7事業で、内訳は上水道事業1事業、病院事業1事業、下水道事業3事業、市場事業1事業、その他事業1事業となっている。

### 3 資本的収支

令和6（2024）年度の資本的収支は、建設改良費等の資本的支出は729億56百万円で、前年度に比べ26億18百万円（3.7%）増加した。この主な要因は、上水道事業の建設改良費が増加したことである。資本的支出の内訳は、建設改良費が424億50百万円、企業債償還金が306億68百万円等となっている。一方、資本的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が360億58百万円で、前年度に比べ40億6百万円（12.5%）増加し、損益勘定留保資金等の内部資金は366億43百万円で、前年度に比べ14億66百万円（3.8%）減少した。

第10表 法適用企業の決算状況の推移

(単位:千円、%)

項 目	R2	R3	R4	R5(A)	R6(B)	対前年度比較	
						B-A (C)	C/A
総 収 益 (a)	90,149,084	90,361,708	92,074,148	93,036,175	94,908,797	1,872,622	2.0
経 常 収 益 (b)	89,939,849	89,721,719	91,843,471	92,854,673	94,743,291	1,888,618	2.0
営業(医業)収益 (c)	58,494,967	59,423,918	58,250,148	59,387,203	60,334,941	947,738	1.6
うち料金収入	53,321,587	54,165,686	52,956,967	54,156,748	54,933,080	776,332	1.4
他会計補助金	14,236,295	12,872,670	14,531,591	14,699,148	15,185,587	486,439	3.3
他会計負担金	3,302,851	3,266,739	3,240,166	3,306,158	3,434,232	128,074	3.9
国庫県補助金	652,874	226,289	1,612,278	971,899	1,110,991	139,092	14.3
長期前受金戻入	15,903,159	16,246,053	16,643,011	16,600,368	17,181,786	581,418	3.5
特 別 利 益 (d)	209,235	639,989	230,677	181,502	165,506	▲ 15,996	▲ 8.8
総 費 用 (e)	80,381,993	80,663,326	83,401,119	85,259,543	89,038,640	3,779,097	4.4
経 常 費 用 (f)	80,054,178	80,400,120	83,166,947	84,880,852	88,739,444	3,858,592	4.5
営業(医業)費用	73,337,460	74,368,066	77,661,203	79,820,897	83,883,419	4,062,522	5.1
うち職員給与費	6,073,579	6,155,327	6,160,891	6,155,556	6,508,901	353,345	5.7
うち減価償却費	41,565,718	41,746,237	42,572,345	42,971,052	44,158,197	1,187,145	2.8
支 払 利 息	6,365,255	5,682,854	5,066,875	4,604,062	4,315,263	▲ 288,799	▲ 6.3
特 別 損 失 (g)	327,815	263,206	234,172	378,691	299,196	▲ 79,495	▲ 21.0
経 常 損 益 (b-f)	9,885,671	9,321,599	8,676,524	7,973,821	6,003,847	▲ 1,969,974	▲ 24.7
経常利益	10,063,253	9,615,087	8,765,530	8,199,360	6,512,313	▲ 1,687,047	▲ 20.6
経常損失(△) (h)	177,582	293,488	89,006	225,539	508,466	282,927	125.4
特 別 損 益 (d-g)	▲ 118,580	376,783	▲ 3,495	▲ 197,189	▲ 133,690	63,499	32.2
純 損 益 (a-e)	9,767,091	9,698,382	8,673,029	7,776,632	5,870,157	▲ 1,906,475	▲ 24.5
累積欠損金 (i)	1,680,239	1,706,887	1,738,569	1,954,546	2,447,557	493,011	25.2
不 良 債 務 (j)	9,725	18,547	163,541	208,398	482,845	274,447	131.7
経常収支比率 (b/f)	112.3	111.6	110.4	109.4	106.8	▲ 2.6	—
総収支比率 (a/e)	112.2	112.0	110.4	109.1	106.6	▲ 2.5	—
経常損失比率 (h/c)	0.3	0.5	0.2	0.4	0.8	0.4	—
累積欠損金比率(i/c)	2.9	2.9	3.0	3.3	4.1	0.8	—
不良債務比率 (j/c)	0.02	0.03	0.28	0.35	0.80	0.45	—
総 事 業 数	70	70	72	76	85	9	11.8
経常損失事業数	4	4	6	7	12	5	71.4
純損失事業数	4	3	5	8	12	4	50.0
累積欠損金保有事業数	4	4	4	5	7	2	40.0
不良債務保有事業数	—	1	2	6	4	1	16.7

- (注) 1. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。  
 2. 経常収益＝総収益－特別利益  
 3. 経常費用＝総費用－特別損失

第11表 法適用企業の事業別決算状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病 院	下水道	市 場	その他	全事業
総 収 益 (a)	37,280,842	198,534	2,757,054	52,752,506	686,340	1,233,521	94,908,797
経 常 収 益 (b)	37,237,255	198,231	2,757,054	52,631,154	686,157	1,233,440	94,743,291
営業(医業)収益 (c)	32,611,256	182,724	2,322,925	24,280,338	426,913	510,785	60,334,941
うち料金収入	30,743,680	178,248	2,073,351	21,099,349	327,832	510,620	54,933,080
他会計補助金	396,945	7,515	173,765	14,320,549	209,229	77,584	15,185,587
他会計負担金	145,946	—	373,883	2,914,403	—	—	3,434,232
国庫県補助金	906,459	—	6,500	198,032	—	—	1,110,991
長期前受金戻入	2,995,329	7,214	19,608	13,478,546	36,357	644,732	17,181,786
特 別 利 益 (d)	43,587	303	—	121,352	183	81	165,506
総 費 用 (e)	34,341,838	163,318	3,012,147	49,471,718	817,132	1,232,487	89,038,640
経 常 費 用 (f)	34,309,636	163,318	3,011,197	49,300,705	722,172	1,232,416	88,739,444
営業(医業)費用	32,925,860	162,635	2,889,417	45,973,428	700,421	1,231,658	83,883,419
うち職員給与費	2,847,895	9,085	1,616,910	1,821,484	164,440	49,087	6,508,901
うち減価償却費	16,068,402	78,120	172,391	26,982,371	205,153	651,760	44,158,197
支払利息	1,318,836	—	14,349	2,966,413	15,012	653	4,315,263
特 別 損 失 (g)	32,202	—	950	171,013	94,960	71	299,196
経 常 損 益 (b-f)	2,927,619	34,913	▲ 254,143	3,330,449	▲ 36,015	1,024	6,003,847
經常利益	3,120,397	34,913	—	3,354,106	—	2,897	6,512,313
經常損失(△) (h)	192,778	—	254,143	23,657	36,015	1,873	508,466
特 別 損 益 (d-g)	11,385	303	▲ 950	▲ 49,661	▲ 94,777	10	▲ 133,690
純 損 益 (a-e)	2,939,004	35,216	▲ 255,093	3,280,788	▲ 130,792	1,034	5,870,157
純利益	3,115,334	35,216	—	3,318,989	—	2,907	6,472,446
純損失(△)	176,330	—	255,093	38,201	130,792	1,873	602,289
累積欠損金(△) (i)	122,665	—	2,005,624	25,767	284,198	9,303	2,447,557
不 良 債 務 (j)	—	—	—	476,168	—	6,677	482,845
経常収支比率 (b/f)	108.5	121.4	91.6	106.8	95.0	100.1	106.8
総収支比率 (a/e)	108.6	121.6	91.5	106.6	84.0	100.1	106.6
経常損失比率 (h/c)	—	—	10.9	0.1	8.4	0.4	0.8
累積欠損金比率(i/c)	—	—	86.3	0.1	66.6	1.8	4.1
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	2.0	—	1.3	0.8
総 事 業 数	23	2	2	55	1	2	85
経常損失事業数	4	—	1	5	1	1	12
純損失事業数	3	—	1	6	1	1	12
累積欠損金保有事業数	1	—	1	3	1	1	7
不良債務保有事業数	—	—	—	3	—	1	4
基準外他会計繰入金	306,694	7,515	9,317	5,435,036	48,709	77,584	5,884,855
控除後の經常損益	2,620,925	27,398	▲ 263,460	▲ 2,104,587	▲ 84,724	▲ 76,560	118,992
控除後の純損益	2,632,310	27,701	▲ 264,410	▲ 2,154,248	▲ 179,501	▲ 76,550	▲ 14,698

- (注) 1. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。  
2. 經常収益＝総収益－特別利益  
3. 經常費用＝総費用－特別損失

第12表 法適用企業の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項 目	R2	R3	R4	R5(A)	R6(B)	対前年度比較	
						B-A (C)	C/A
資本的支出							
建設改良費	34,058,877	35,096,920	36,934,388	38,237,298	42,449,595	4,212,297	11.0
企業債償還金	32,341,266	32,806,542	32,411,740	31,493,615	30,668,019	▲ 825,596	▲ 2.6
他会計借入金返還額	—	10,950	—	3,434	2,406	▲ 1,028	▲ 29.9
その他	449,991	317,762	472,034	910,247	327,754	▲ 582,493	▲ 64.0
計	66,861,084	68,232,174	69,760,974	70,338,034	72,956,062	2,618,028	3.7
財源							
内部資金	36,976,274	36,163,630	36,923,905	38,109,815	36,643,445	▲ 1,466,370	▲ 3.8
外部資金	29,884,810	32,068,544	32,837,069	32,051,419	36,057,717	4,006,298	12.5
1. 企業債	15,469,640	18,134,900	19,001,400	17,659,200	22,016,900	4,357,700	24.7
2. 他会計繰入金	6,253,182	6,726,796	6,378,706	6,648,837	6,875,052	226,215	3.4
3. 国・県補助金	6,321,945	5,336,105	5,844,797	6,811,097	6,130,864	▲ 680,233	▲ 10.0
4. 翌年度繰越財源充当(△)	49,805	66,134	142,940	3,917	76,110	72,193	1,843.1
計	66,861,084	68,232,174	69,760,974	70,161,234	72,701,162	2,539,928	3.6
財源不足額	—	—	—	176,800	254,900	78,100	44

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

第13表 法適用企業の事業別資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病院	下水道	市場	その他	全事業
資本的支出							
建設改良費	22,272,651	40,634	182,960	19,403,565	91,983	457,802	42,449,595
企業債償還金	8,312,544	—	400,554	21,921,011	—	33,910	30,668,019
他会計借入金返還額	2,406	—	—	—	—	—	2,406
他会計への支出金	—	—	—	—	—	—	—
その他	323,293	—	1,680	2,781	—	—	327,754
計	30,910,894	40,634	585,194	41,327,357	91,983	491,712	72,956,062
財源							
内部資金	19,141,495	40,634	110,889	17,258,444	91,983	83,518	36,643,445
外部資金	11,769,399	—	474,305	23,814,013	—	408,194	36,057,717
1. 企業債	9,275,700	—	179,500	12,431,400	—	130,300	22,016,900
2. 他会計繰入金	1,017,268	—	294,055	5,285,835	—	277,894	6,875,052
3. 国・県補助金	416,508	—	—	5,714,356	—	—	6,130,864
4. 翌年度繰越財源充当(△)	—	—	—	76,110	—	—	76,110
計	30,910,894	40,634	585,194	41,072,457	91,983	491,712	72,701,162
財源不足額	—	—	—	254,900	—	—	254,900

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

## 8 法非適用企業の経営状況

(第14表・第15表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業法の規定を適用していない事業で、地方財政法第6条の規定に基づき、特別会計を設けて官庁会計方式（単式簿記）で会計処理を行っている事業を法非適用企業といい、令和6（2024）年度においては、前年度から12事業減の15事業であった。法非適用企業の決算規模は68億30百万円で、前年度に比べ20億90百万円（23.4%）減少しており、公営企業全体の決算規模に占める割合は5.3%となっている。

### 1 収益的収支

令和6（2024）年度の収益的収支は、総収益は49億25百万円で、前年度に比べ3億80百万円（8.4%）増加した。一方、総費用は5億56百万円で、前年度に比べ5億86百万円（51.3%）減少した。この結果、総収益と総費用との収支差引は43億69百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額が9億66百万円（28.4%）増加した。この収支差引を事業別に見ると、宅地造成事業41億44百万円、下水道事業1億75百万円等となっている。但し、これは一般会計からの基準外繰入金1億15百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支の黒字額は42億54百万円であった。

### 2 資本的収支

令和6（2024）年度の資本的収支は、資本的支出が60億72百万円で、前年度に比べ16億82百万円（21.7%）減少した。この主な要因は、下水道事業における法非適用事業数の減少等により、建設改良費が前年度に比べ10億38百万円（皆減）減少したためである。一方、資本的支出の財源である資本的収入は26億4百万円で、前年度に比べ23億24百万円（47.2%）減少し、このうち地方債は18億30百万円、他会計繰入金は7億2百万円であった。この結果、資本的収入と資本的支出の収支差引は34億68百万円の赤字で、前年度に比べ赤字額が6億43百万円（22.7%）増加した。また、基準外繰入金6億97百万円を控除した場合の実質的な収支の赤字額は41億66百万円であった。

### 3 実質収支

収益的収支と資本的収支を合算し、これに繰越財源等を調整した実質収支については、前年度に比べ73百万円（9.5%）減少し、6億99百万円の黒字であった。一方、基準外繰入金8億12百万円を控除した場合の実質的な収支は1億13百万円の赤字であり、下水道事業1事業、市場事業2事業、観光施設事業1事業、宅地造成事業4事業の計8事業が実質的な赤字を生じている。

第14表 法非適用企業の決算状況の推移

(単位：千円、%)

項目	R2	R3	R4	R5 (A)	R6 (B)	対前年度比較		
						B-A(C)	C/A	
収益的収支	総収益 (a)	4,161,294	4,419,210	3,103,780	4,545,194	4,925,110	379,916	8.4
	営業収益 (b)	2,036,156	2,200,897	1,406,285	3,251,884	4,560,668	1,308,784	40.2
	うち料金収入	2,031,848	2,080,696	1,277,752	3,122,732	4,437,109	1,314,377	42.1
	国庫県補助金	21,968	20,915	9,053	—	—	—	—
	他会計繰入金	2,032,873	2,087,985	1,637,941	1,135,457	341,480	▲ 793,977	▲ 69.9
	総費用 (c)	1,894,868	1,840,164	1,537,238	1,142,351	556,320	▲ 586,031	▲ 51.3
	営業費用	1,517,155	1,482,645	1,260,590	962,725	507,460	▲ 455,265	▲ 47.3
	うち職員給与費	158,480	175,358	147,690	126,608	77,198	▲ 49,410	▲ 39.0
	支払利息	349,731	325,113	241,634	168,426	39,594	▲ 128,832	▲ 76.5
	収支差引	2,266,426	2,579,046	1,566,542	3,402,843	4,368,790	965,947	28.4
資本的収支	資本的収入	2,395,059	4,042,708	4,760,647	4,927,863	2,603,661	▲ 2,324,202	▲ 47.2
	地方債	1,335,100	2,980,600	3,725,100	3,135,300	1,829,900	▲ 1,305,400	▲ 41.6
	国庫県補助金	269,170	278,629	398,485	652,336	8,580	▲ 643,756	▲ 98.7
	他会計繰入金	697,384	702,291	577,799	1,066,218	701,799	▲ 364,419	▲ 34.2
	資本的支出	4,384,922	6,770,374	6,342,874	7,753,427	6,071,900	▲ 1,681,527	▲ 21.7
	建設改良費	2,207,742	3,704,222	4,454,723	4,149,733	2,969,494	▲ 1,180,239	▲ 28.4
	地方債償還金 (d)	1,909,442	2,580,953	1,738,615	2,645,239	3,053,712	408,473	15.4
	収支差引	▲ 1,989,863	▲ 2,727,666	▲ 1,582,227	▲ 2,825,564	▲ 3,468,239	▲ 642,675	▲ 22.7
実質収支	717,752	449,092	407,009	772,273	698,855	▲ 73,418	▲ 9.5	
黒字	717,752	449,092	407,009	772,273	698,855	▲ 73,418	▲ 9.5	
赤字 (△) (e)	—	—	—	—	—	—	—	
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	109.4	100.0	94.7	120.0	136.4	16.4	13.7	
赤字比率 (e)/(b)	—	—	—	—	—	—	—	
総事業数	34	36	32	27	15	▲ 12	▲ 44.4	
収益的収支で赤字の事業数	4	4	1	4	—	▲ 4	▲ 100.0	
実質収支で赤字の事業数	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。

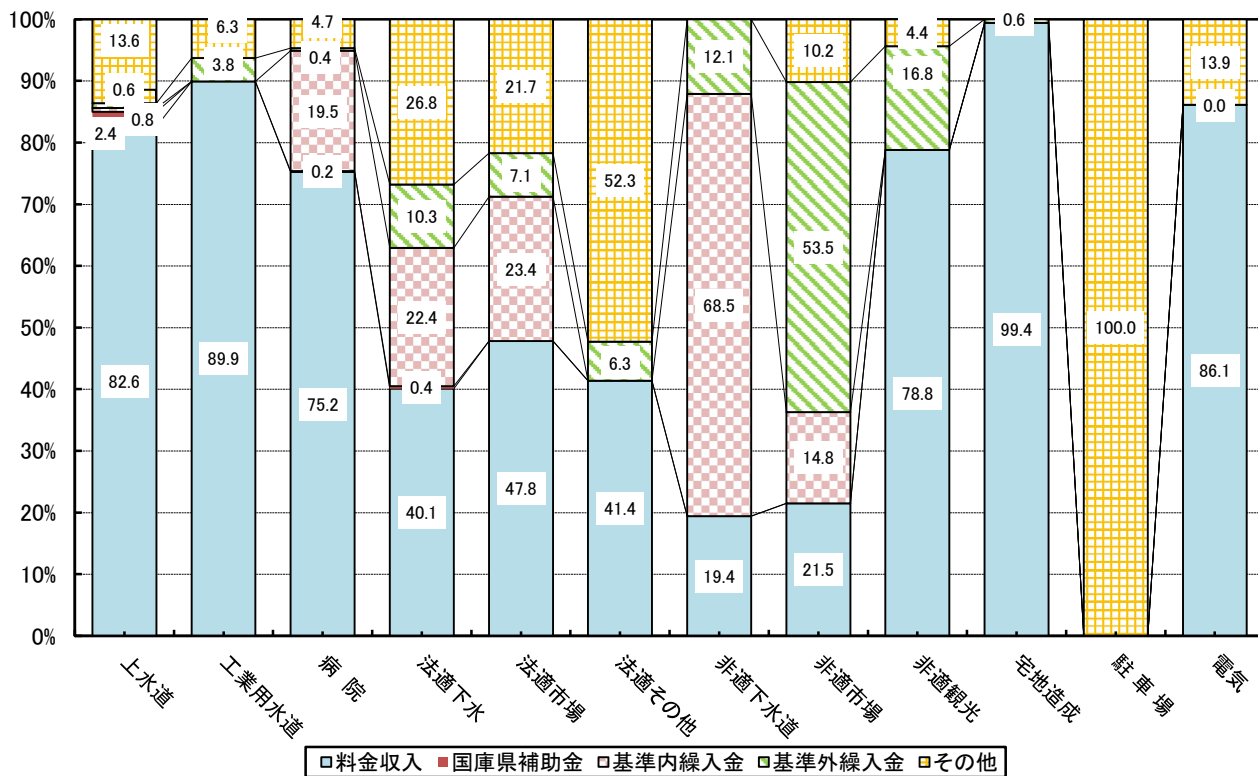
第15表 法非適用企業の事業別決算状況

(単位：千円、%)

項 目		下水道	市場	観光施設	宅地造成	駐車場	電気	合計
収 益 的 収 支	総 収 益 (a)	323,123	34,183	190,396	4,191,078	124,870	61,460	4,925,110
	営業収益 (b)	62,570	7,341	151,846	4,164,272	121,740	52,899	4,560,668
	うち料金収入	62,526	7,341	150,071	4,164,272		52,899	4,437,109
	国庫県補助金							
	他会計繰入金	260,553	23,342	32,000	25,585			341,480
	総 費 用 (c)	148,325	32,523	180,199	47,118	93,905	54,250	556,320
	営業費用	109,710	32,206	176,553	47,115	90,489	51,387	507,460
	うち職員給与費	7,687		53,094	16,417			77,198
	支払利息	38,615	317	659	3			39,594
	収 支 差 引	174,798	1,660	10,197	4,143,960	30,965	7,210	4,368,790
資 本 的 収 支	資本的収入	1,657	8,907	75,820	2,517,260		17	2,603,661
	地方債			55,600	1,774,300			1,829,900
	国庫県補助金				8,580			8,580
	他会計繰入金		8,907		692,892			701,799
	資本的支出	179,765	8,907	73,014	5,788,926	21,271	17	6,071,900
	建設改良費			59,742	2,896,554	13,198		2,969,494
	地方債償還金 (d)	179,765	8,907	13,272	2,851,768			3,053,712
収 支 差 引	▲ 178,108		2,806	▲ 3,271,666	▲ 21,271		▲ 3,468,239	
実 質 収 支	899	8,172	24,721	647,204	10,649	7,210	698,855	
黒 字	899	8,172	24,721	647,204	10,649	7,210	698,855	
赤 字 (△) (e)								
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	98.5	82.5	98.4	144.6	133.0	113.3	136.4	
赤字比率 (e)/(b)								
総 事 業 数	2	3	2	6	1	1	15	
収益的収支で赤字の事業数								
実質収支で赤字の事業数								
基準外他会計繰入金(収益的)	38,937	18,267	32,000	25,585			114,789	
基準外他会計繰入金(資本的)		4,453		692,892			697,345	
基準外他会計繰入金(計)	38,937	22,720	32,000	718,477			812,134	
〃 控除後の収益的収支	135,861	▲ 16,607	▲ 21,803	4,118,375	30,965	7,210	4,254,001	
〃 控除後の資本的収支	▲ 178,108	▲ 4,453	2,806	▲ 3,964,558	▲ 21,271		▲ 4,165,584	
〃 控除後の実質収支	▲ 38,038	▲ 14,548	▲ 7,279	▲ 71,273	10,649	7,210	▲ 113,279	

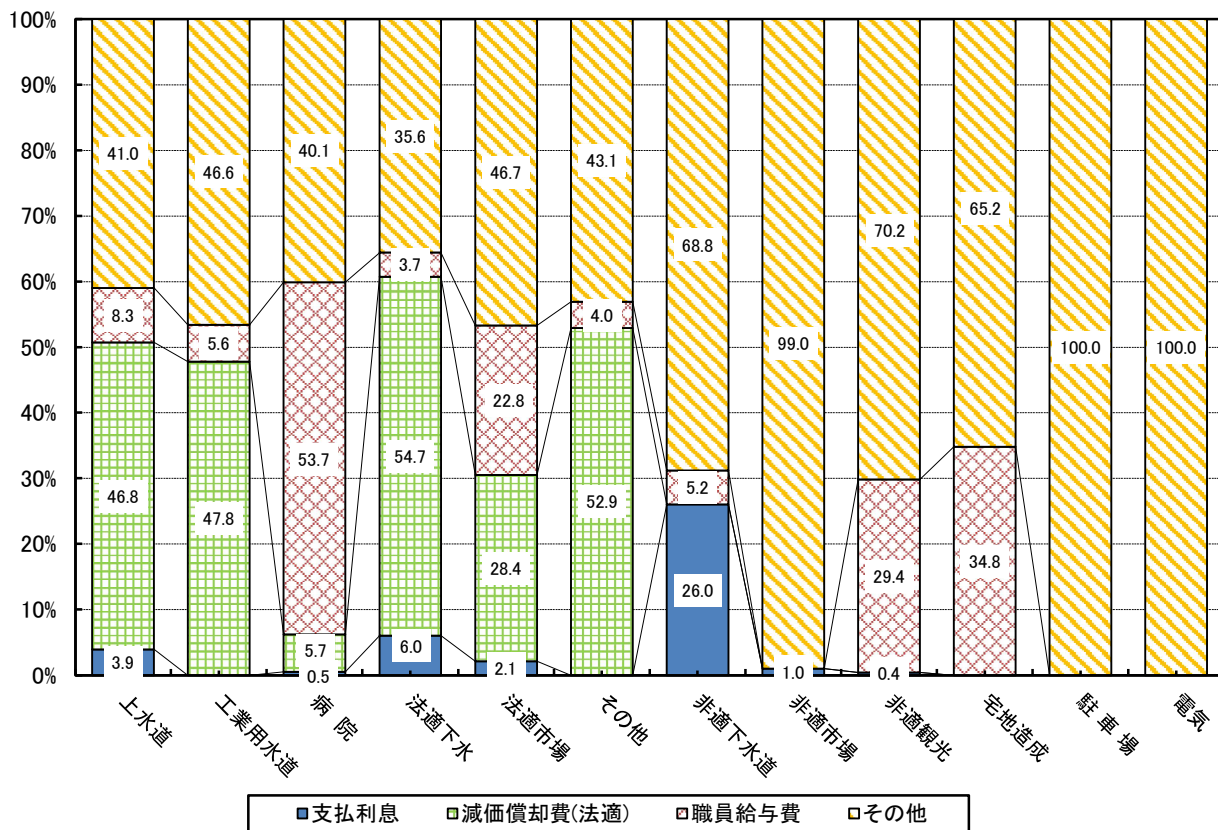
(注) 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。

第10図 収益的収入の構成割合



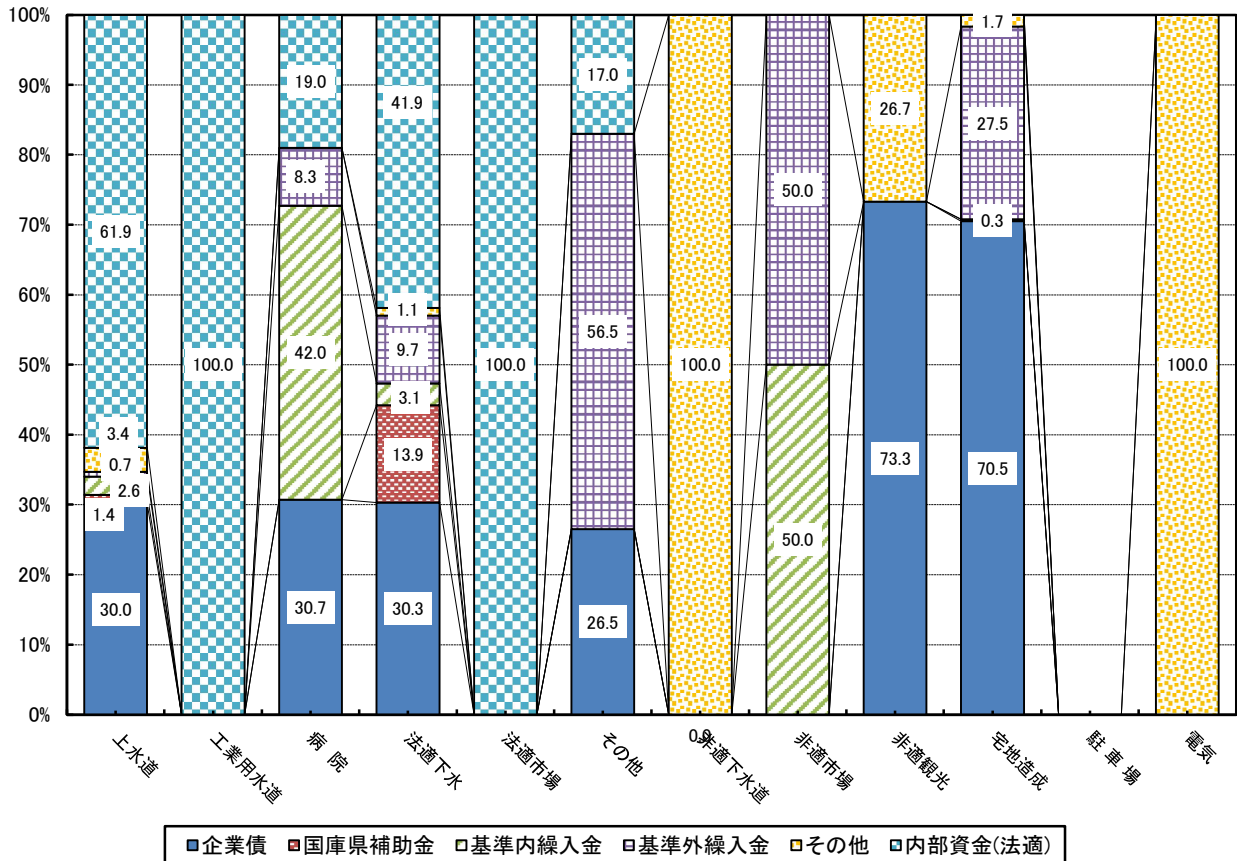
(注) 法適用企業の収益的収入は経常収益、法非適用企業の収益的収入は総収益とした。

第11図 収益的支出の構成割合



(注) 法適用企業の収益的支出は経常費用、法非適用企業の収益的支出は総支出とした。

第12図 資本的収入の構成割合



第13図 資本的支出の構成割合

